

第4回宝塚市総合計画審議会 第1部会・第2部会 会議結果

日時:令和2年(2020年)5月11日(月)~5月19日(火) (書面開催)

議題1 基本計画【各論】(素案)について

No	該当箇所	審議会 質問・意見	質問・意見に対する対応、考え方 又は 修正内容	
			区分	内容
1	全般	第5次総合計画では168頁あったものを各論数38から31に減らしたとしても約60頁では紙数不足は否めない。どうしても必要以上に説明を割愛することになる。 第6次総合計画を作るにあたり第5次総合計画は大部過ぎて市民に不人気だったのでシンプルにするという方針のもとに進められたが「各論」(素案)を読む限り、「分かりずらさ」は解消されていないので市民に手軽に手に取って内容を理解してもらうのは難しいのではないだろうか。	一部反映	分かりやすい計画づくりに向け、内容はできるだけ簡潔に記載したいと考えていますが、分かりにくい表現については、改善に努めます。 ただし、第6次総合計画は、社会情勢の変化に柔軟に対応しやすくするため、具体的な取組は盛り込まず、各施策分野のめざすまちの姿やその実現に向けた施策、施策の方向性を主に記載し、具体的な取組は、個別の各分野別計画において記載することにより、役割分担を図りたいと考えています。 なお、施策、施策の方向性の「ねらいや主な取組」を別紙『施策の方向性』のねらいや主な取組(以前配布した、第6次総合計画 基本計画作成シートの「ねらいや主な取組」に修正を反映したもの)のとおり作成していますので、参照ください(本資料は、第6次総合計画策定後も記録として残します)。
2	全般	送られた資料には目次、ページがありません。記入する人(市民)の身になって作って下さい。それが市職員の基本だと思います。	反映	ページの付記ができておらず申し訳ございませんでした。(素案_修正版)には、ページを付記しました。
3	全般	「資料2 第6次総合計画 基本計画作成シート等の内容に係る質問・意見及び対応」 総計には盛り込まない「ねらいや主な取組」部分についての意見について「修正します」という記載が何か所もあります。 ➡修正してどう扱うのでしょうか？新たに「修正した基本計画作成シート」を作るのでしょうか？あるいは自分で修正して施策展開の方針を理解するという事ですか？ ここは「施策展開の方針の意味はこういう事と理解してください」ということでは？	その他	施策、施策の方向性の補足資料として「ねらいや主な取組」等をまとめた別紙『施策の方向性』のねらいや主な取組(以前配布した、第6次総合計画 基本計画作成シートの「ねらいや主な取組」に修正を反映したもの)を作成しました。本資料は、第6次総合計画策定後も記録として残します。 ※作成シートにおける「施策展開の方針」は、基本計画では「施策の方向性」に表現を変更しています。
4	全般	「めざすまちの姿」と「現状と課題」のずれについて。 各論総数31に対して「めざすまちの姿」の項目数1個が24、2個が5、3個が2ある。例えば「1市民自治・協働」では「めざすまちの姿」の項目数は2個ある。 本来「めざすまちの姿」は各論ごとに1個であるべきだと考える。第5次総合計画でも1個であり、2個あれば「現状と課題」の分析も複雑になるかもしれない。どちらかであるから1個に絞るべきだと考える。	原案どおり	めざすまちの姿1つに対し施策分野1つとすると、「現状と課題」との対応関係も分かりやすくなりますが、第6次総合計画では、分かりやすい計画、評価しやすい計画とするため、重複している施策分野や関連の深い施策分野を極力統合し、シンプルな構成としています。また、統合していない施策分野でも、複数のめざすまちの姿の設定が必要なものもあるため、めざすまちの姿1つに対し施策分野1つとすることは難しいと考えています。
5	全般	「資料2 第6次総合計画 基本計画作成シート等の内容に係る質問・意見及び対応」No2、3 SDGs目標、エイジフレンドリーの扱いについて説明意見対応 ➡基本計画に記載することは無いと思います。その項目がSDGs目標のどこに該当するのかチェックしきれないし、総計の全施策に付け加える必要性を感じません。	その他	「SDGs目標」、「エイジフレンドリー」の項目の扱いについては、改めて審議会の場でご意見をお伺いしたいと考えています。
6	全般	「資料2 第6次総合計画 基本計画作成シート等の内容に係る質問・意見及び対応」No3 「SDGs目標」、「エイジフレンドリー」が「各施策」に付けてあるが何のためですか？単に審議会の参考ですか？ 上記の件は基本計画に掲げているから、各項目には必要ないと考える。	その他	
7	全般	「資料2 第6次総合計画 基本計画作成シート等の内容に係る質問・意見及び対応」No9 「まちづくり基本条例・推進条例・地域ごとのまちづくり計画などとの関連した内容が無いようです。… 基本構想を見直す方がいいと思います。」とのご意見ですが、… 行政としての構想を基本的に認識して作成されている考えますので、現段階での見直しは必要ないかと考えます。尚、各まちづくり協議会で纏められた施策等に関しては、行政として口出しするべきでは無いと考える。(地域ごとで改善等を考慮するべき。)	その他	地域ごとのまちづくり計画については、市の職員も地域の会議に出席し、市の各施策との整合性の観点から助言を行うとともに、市の関係部署との調整を図りながら、各まちづくり協議会において、見直し作業が進められ、令和2年(2020年)3月に概ね見直しは完了しています。計画の個別の内容について、市が修正を求めることはありません。
8	全般	宝塚市民憲章については、その後議論されましたか？	その他	市民憲章は、市民団体等で構成する制定委員会が作成した原案を市議会の議決を経て、制定、公布したもので、都市像や、市民生活の規範などを示すものです。「人に迷惑をかけないようにしよう。」という表現が、現在、本市が推進している「お互いさま」がふれるまちの視点から捉えると違和感があるというご意見については、迷惑をかける行為というのは、無責任な行動や決まりを守らない行動を指しており、不整合は生じていないと考えています。別の一節には、「お互いに理解しあい、助けあい」とあり、「お互いさま」の理念は盛り込まれていると考えています。 また、市の考えや姿勢を内外に表明する都市宣言も市議会の議決を経て宣言されたもので、市民憲章も都市宣言も期間を定めない普遍的なものであり、総合計画の上位に位置付けられるものと考えています。付属資料に掲載するなどの取り扱いについては、10月の全体会でご意見をいただきたいと考えています。
9	全般	「資料2 第6次総合計画 基本計画作成シート等の内容に係る質問・意見及び対応」No14 「新たな働き方・暮らし方を実践している人も宝塚市の魅力の大きな要素です。…」 宝塚市として働き場を増やす。また、活性化を重点に構想を展開することが必要だ。 課題解決として、 ①企業誘致の施策展開。(優遇税制…コンビニ等での税収は微々たる物だ。) ②何方かが申されている様な、日本で1番の「文化都市」と言いたいのであれば、新規に箱物として作った文化施設の抜本的な利用法の構想を再検討して、ランニングコストを考慮した施策の構築が必要で有る。 ③宝塚市の約3分の2を有する「里山としての西谷地域」の利活用を前面にした利活用の施策の構築が必要で有る。(関西地区の里山としての構想を・新名神の活用) ④公共施設の利活用の再検討の件。(現在推進している適正化への対応を考慮する。) ⑤児童養護施設等の市立と私立の、的確な融合化を検討する。 ⑥その他	その他	①市内企業の活性化により税収増や働き場が増えていくことを目指していきたいことは同様の考えです。これまで市内では大規模な企業が流出しているのは事実ですが、様々な施策を通して、今後も立地促進や既存事業所の流出防止を図っていきたくと考えています。 ②新しく設置した文化芸術センターは、文化芸術を軸とした文化の複合施設として運営していきます。宝塚の魅力の継承と創造、創造力の育成、コミュニティの形成、地域の活性化、地域課題の解決への貢献の5つを事業目的としています。運営は指定管理者制度により、民間事業者の経験で最大限尊重し、官民連携により効果的に事業目的を達成していきます。コロナ禍による影響はありますが、オープンから1年も経過していないことから、当初の計画により事業を運営していきます。 ③北部地域の財産である里山を保全し、今後活用していくことは重要であると考えており、そのために保全活動の支援を推進します。 ④ご意見のとおりと考えています。公共施設の利活用については、施設の機能や将来的な需要なども踏まえ、保有する施設の適用性を見極め、余剰となる施設の再編や統合を進めることを最適化方針としています。今後も、社会情勢や市の財政状況、建物施設最適化の進捗状況を踏まえ、取組対象施設やその取組時期について適宜見直しを行いながら最適化を進めていきます。 ⑤今後の取組の参考意見とさせていただきます。現在市内1か所ある児童養護施設については、市の補助を受けて民間事業者が運営しているところです。
10	全般	行政と市民の協働については、多くの職員がもつと地域に出向いて、市民の活動を知る必要があります。市民協働、健康福祉部、教育委員会、子ども未来部などはどんどん地域に出るべきだと思います。	その他	市民と行政との協働のみならず、市の施策や方針などへの理解促進のためにも、部署に捉われず職員が地域に出向いていくことは必要と考えています。ポストコロナ社会での活動手法について、地域の皆さまのご意見をいただきながら考えてまいります。
11	全般	この度のコロナ禍は、観光・商工業をはじめ様々な分野に影響を及ぼしており、大きく社会が変わろうとしている。そうした点を踏まえて、総合計画を策定する必要があり、総論で触れる必要がある。	反映	新型コロナウイルス感染症の影響を考慮した計画づくりに取り組みます。基本計画 総論でも触れることを考えており、改めてご審議いただきます。
12	全般	現状と課題 各論の「現状と課題」を読んでいて気になったのが今までの努力の成果とメッセージ性が見えないところです。例えば、課題に対して今までの総合計画(第1次~第5次)でここまで達成できた。しかし、まだこの点に問題があるのでこのような施策でチャレンジしますので市民の皆様のご理解を得たうえで行政と協働して課題解決に努力しましょうというメッセージ性も感じられないことです。	その他	現状と課題については、先に審議会資料として配布した「第5次総合計画 後期基本計画 評価検証シート」を踏まえ記載しています。第1次から第5次総合計画までのすべての成果、課題を整理していませんが、毎回、総合計画策定時には前計画の評価検証を行った上で、新たな総合計画を策定しており、第5次総合計画 後期基本計画の評価検証を行うことは、これまでの取組の成果と課題を踏まえることになると考えています。現状と課題の表現については、市民に伝わるような内容となるよう努めていきます。

No	該当箇所	審議会 質問・意見	質問・意見に対する対応、考え方 又は 修正内容	
			区分	内容
13	全般 施策	施策ですので、主語は宝塚市役所になると思いますが、「図ります」と書いてあるものに、市民との共同でやるべきことや、市民が主体的にすることを市が支援するべきではないかと思えることが散見します。また、施策の具体性や、方向性が判然としない記述も多く、残念ながら市が当たり前にやるべきことが連ねられているなあという印象のページが多くあります。	その他	「図ります」の意味は、「なんとか実現できるように試みる、工夫するといった意志を表明する表現」(Weblio辞書)となっています。協働でやる形、市民が主体となり市が支援してやる形など、様々な手法を包含した表現であると考えています。施策の具体性や方向性が判然としない記述が多いことについては、No1の回答を参照ください。
14	全般 施策	エイジフレンドリーシティ宝塚の基本理念は「お互いさまがあふれるまちづくり」であり、高齢者だけでなくあらゆる世代にやさしいまちづくりです。特に第五分野には「あらゆる世代がお互いの存在を認め合う社会を目指す」と明記されていますので、「エイジフレンドリー」の項目を高齢者に寄与する施策にのみ記載はおかしいと思います。	その他	エイジフレンドリーシティはWHO(世界保健機関)が、世界的な高齢化と都市化に対応するために、「都市のハードや社会システムを高齢化に対応させる」「市民参画や雇用などで、高齢者が社会に参加し、支える側にまわる」の観点から、高齢者にやさしいまちづくりを推進するというものであり、宝塚市はこの考え方に賛同しています。エイジフレンドリーシティ宝塚行動計画では、「高齢者にやさしいまちはあらゆる世代にやさしいまち」との考えのもと、「お互いさま」を基本理念としてあらゆる世代にやさしいまちをめざし、高齢者に寄与する取組を定めています。第五分野につきましても、高齢者と高齢者以外の人が互いに理解し合うという趣旨であり、高齢者に関連した分野となっています。ただし、市の取組としては、エイジフレンドリーシティ行動計画の基本理念である「お互いさま」があふれるまちの実現に向けて、高齢者に関連しない取組も含めて、市民の皆様と協働で推進しています。第六次総合計画では、あらゆる世代にやさしいまちをめざし、基本構想のまちづくりの視点に『お互いさま』があふれるまちづくりを掲げた上で、WHOの考えに基づく高齢者に寄与するエイジフレンドリーシティの取組をはじめ、「お互いさま」があふれるまちの実現に向けた各施策を推進していきたいと考えています。
15	全般 成果指標	「施策」に対して、なぜこの「成果指標」を選んだのかの説明がなく、成果を曖昧な矢印で表示しており、数値目標もないので厳密な検証が困難である。従って、「成果指標」を選んだ理由と数値目標を記載すべきである。	その他	成果指標については、分野別計画に掲げる代表的な指標などの中から、施策の成果を測る上で最も妥当と考える指標を記載しています。数値目標については、第六次総合計画では記載せず、策定後に毎年行う評価・検証の中で目標を立て進捗管理していきたいと考えています。第六次総合計画は分野別計画を十分勘案し、策定することとしており、分野別計画の中で10年後の数値目標について検討ができていないものがある現状において、数値目標の記載は難しいものと考えています。
16	全般 成果指標	成果指数に対して目指す方向性を定めているのであれば、成果指数の現状がどれくらいなのかどこかに資料として載せる予定はありますか？ 目指す上では、市民が現状の把握をする必要があると思いました。	反映	各成果指標の現状値を記載した別紙『「施策の方向性」のねらいや主な取組』を作成しましたので、参照ください。
17	1-1 市民自治・協働 現状と課題	現状と課題(2) なぜ市民活動を促進するのか、市民活動が果たす役割や期待されること等、促進する理由や現状をもう少し、補足どうでしょうか？ 市民活動という言葉になじみがない人にとっては、市民活動がどうして大切なのか理解できないかと思いました。	反映	意見を踏まえて、下記のとおり修正します。 【修正前】 (2) 近年の地域課題は多様化、複雑化しています。様々な分野における市民活動の促進に向けて、より効果的な取組を引き続き検討していく必要があります。 ↓ 【修正後】 (2) 近年の地域課題は多様化、複雑化しています。様々な分野における市民の主体的なまちづくり活動やコミュニティ活動は個性豊かで活力に満ちた地域社会の構築につながります。そのため、これらの活動の促進に向けて、より効果的な取組を引き続き検討していく必要があります。
18	1-1 市民自治・協働 施策	施策(1)「資料2 第六次総合計画 基本計画作成シート等の内容に係る質問・意見及び対応」No21、22 「自治会とまち協」を「自治会、まちづくり協議会、様々な活動団体や個人」に変更しては、連携するが自治会はまち協の中核であり自治会として個別に活動することもあるという趣旨はその通りですが、ここは「市民自治・地域自治の確立」という施策です。自治会まち協さらにNPOや個人の活動も視野に入れる必要があります。		意見を踏まえて、下記のとおり修正します。 【修正前】 自治会とまちづくり協議会の連携を促進します ↓ 【修正後】 まちづくりに関わるすべての個人や団体(自治会、市民活動団体など)の連携を促進します
19	1-1 市民自治・協働 施策	施策(1)「資料2 第六次総合計画 基本計画作成シート等の内容に係る質問・意見及び対応」No21、22 質問・意見に対して、原案通りとしています。意見者の意見が妥当だと思います。今回、地域のまちづくり計画を掲載することによって、その関係者が注視するとき、「自治会と協議会」と並列するところは、引っかけります。2つの意見者提案のような表現が良いと思います。でも、様々な団体の連携支援となると、まず、市役所側の様々な部局が連携・統合して、支援策を打たないといけないということになり、少しニュアンスが異なります。でも良いことと思います。先進事例はそのような方向に動いています。	反映	
20	1-1 市民自治・協働 施策	施策(1)「資料2 第六次総合計画 基本計画作成シート等の内容に係る質問・意見及び対応」No21、22 前回、「自治会とまちづくり協議会の連携を促進します」という表現は自治会とまちづくり協議会が別組織であると誤解されますので、「まちづくりに関わるすべての個人や団体(自治会、市民活動団体など)の連携を促進します」としては如何ですかと意見を述べさせていただきました。これに対する回答は「原案のとおり」ということで、今回も「自治会とまちづくり協議会の連携を促進します」と表現されています。現在検討中の「宝塚市協働のまちづくり推進条例(案)」の第5条1では、まちづくり協議会は(1)地域課題を解決するため、自治会を中核として、地域で活動する個人及び団体の連携を図る組織であることと規定しています。ゆえに、自治会はまちづくり協議会の構成団体となります。確かに自治会独自で取り組む課題もありますが、それもまちづくり協議会の活動の一環です。再度ご検討をお願いします。		
21	1-1 市民自治・協働 施策	施策(1)、「〇」4つ目 如何なる方法及び方策とは、どの様な事をお考えですか。教えて欲しいです。	その他	防災や福祉(見守り)などをキーワードとして自治会の設立や加入を促進している事例もあることから、これらの取組を支援してまいります。
22	1-1 市民自治・協働 施策	施策(3)、「〇」3つ目 如何なる方法及び方策とは、どの様な事をお考えですか。教えて欲しいです。 つながりづくりとは？…高齢者を利用(活用)するのは如何かな。私も今年には後期高齢者に成ります、出来れば中年以下の人材にて「有償ボランティア制度」を検討して頂きたい。言葉上のボランティアは厚生年金の受給者の方々をお願いすれば良い。	その他	NPO法人に市民活動促進支援事業(NPO法人の法人化支援業務、法人運営支援業務、市民活動団体等のコミュニティビジネス等起業・経営支援業務、まちづくり協議会等の自主財源の確保に向けた支援業務など)を委託し、活動の支援や活性化などに取り組んでいます。また、きずなづくり推進事業補助金を活用し、きずなづくりにつながる市民活動を補助し、市が直接かかわりにくい部門で市民と協働で支え合いのまちづくりに取り組んでいます。
23	1-1 市民自治・協働 成果指標	施策(1)、成果指標 「まちづくり協議会ポータルサイトアクセス件数」については、現状のポータルサイトにアクセスしても有益な情報を得られる状態ではありません。また、市民も地域の情報をホームページから得ることを求めているか(能動的なアクションを起こさせる方が困難なので)ポータルサイトのアクセス増よりも、各まち協の情報発信方法、市民がどのように情報を受け取りたいか？などの調査をし、双方にとって有益な発信方法を探るべきだと思います。	原案どおり	成果指標については原案どおりとしますが、市民がどのような情報を、どのような媒体で受け取りたいかは多様であると考えますので、各まちづくり協議会においても検討され、よりよい情報発信に努めていただけるよう、市としても協力してまいります。

No	該当箇所	審議会 質問・意見	質問・意見に対する対応、考え方 又は 修正内容	
			区分	内容
24	1-1 市民自治・協働 成果指標	施策(1)、成果指標 「まち協ポータルサイトアクセス件数」より「各まちづくり協議会活動イベント回数、参加者数」も追加しては？ ・「地域ごとのまちづくり計画…」→文章がおかしい(まちづくり計画進捗状況)のことと推測します。 ・加入率は上がらないと思うので、加入促進に向けた取り組み件数を加入率にしては？	一部反映	・感染症対策を踏まえた今後の活動のあり方が不透明であることから、成果指標「まち協ポータルサイトアクセス件数」は原案のとおりとしたいと思います。 ・意見を踏まえて、下記のとおり修正します。 【修正前】 地域ごとのまちづくり計画の順調に進んでいる取組の数 ↓ 【修正後】 地域ごとのまちづくり計画において順調に進んでいる取組の数 ・取組というプロセスも大切と考えますが、協働の推進にはこれまでどおり自治会の役割は大きいことから、結果指標である加入率を引き続き成果指標とします。
25	1-1 市民自治・協働 成果指標	施策(1)、成果指標 「地域ごとのまちづくり計画の順調に進んでいる取組の数」 細かい部分で恐縮ですが、表現が分かりにくく感じました。 「地域ごとのまちづくり計画において順調に進んでいる取組の数」など少し理解しやすいように書き換えていただけたらと思いました。	反映	意見を踏まえて、下記のとおり修正します。 【修正前】 地域ごとのまちづくり計画の順調に進んでいる取組の数 ↓ 【修正後】 地域ごとのまちづくり計画において順調に進んでいる取組の数
26	1-1 市民自治・協働 成果指標	施策(2)、成果指標 市内のNPO法人数 →◆市内のNPO法人数・市民活動団体の数を加えることはできないか？	原案どおり	市内のNPO法人数については把握可能ですが、市民活動団体の数については把握困難なため、原案どおりとします。
27	1-1 市民自治・協働 成果指標	施策(1)、成果指標 ◆マンションなど集合住宅の自治会の新設数を加えることはできないか？	原案どおり	マンション等集合住宅における自治会の新設は結果として自治会加入率に反映されることから、原案通りとします。
28	1-1 市民自治・協働 成果指標	施策(2)、成果指標 市内のNPO法人数だけでなく、市民活動グループ、ボランティアグループなどを含めてはどうか？	原案どおり	市内のNPO法人数については把握可能ですが、市民活動グループ、ボランティアグループなどの数については把握困難なため、原案どおりとします。
29	1-1 市民自治・協働 成果指標	施策(3)、成果指標 市民団体による公共事業の指定管理委託件数を入れては？民間企業等との割合があってもよい。市民団体＞民間企業	原案どおり	市内のNPO法人数は増加していますが、コミュニティビジネスとして指定管理業務に参入するには一定の体力が必要であることから、現時点では指標とせず、NPO法人等の運営の強化について支援してまいります。
30	1-2 人権・部落問題・男女共同参画 めざすまちの姿	「めざすまちの姿」には「平和」という文言がない。しかし「現状と課題」及び「施策」(2)には「平和」という文言が記載されている。「めざすまちの姿」に「平和」という重要な文言が欠落しているのはなぜか。「めざすまちの姿」に「平和」という文言を追記すべきである。	反映	○めざすまちの姿 【修正前】 すべての人の人権が尊重され、誰もがありのままに自分らしく生きている。 ↓ 【修正後】 すべての人の人権が尊重され、平和で誰もがありのままに自分らしく生きている。 ※基本構想の修正を伴うため、全体会で改めて確認をいただきます。
31	1-2 人権・部落問題・男女共同参画 施策分野名	「資料2 第6次総合計画 基本計画作成シート等の内容に係る質問・意見及び対応」No25 「部落問題」の表現について ■「部落問題」ではなく「部落差別」が適当です。法律は「部落差別の解消の推進に関する法律」です。第3次宝塚市人権教育及び人権啓発基本方針でも「部落差別」としてしています。 ■「部落差別」として政策分野でなく、施策展開の方針に載せることは賛成です。	反映	○施策分野名 【修正前】 人権・部落問題・男女共同参画 ↓ 【修正後】 人権・__男女共同参画 ○施策(1)、「○」1つ目 【修正前】 あらゆる施策を人権尊重の視点に立って進めます。 ↓ 【修正後】 部落差別をはじめとする様々な差別解消に向けて、あらゆる施策を人権尊重の視点に立って進めます。 表現は、ご意見、法律、市の方針等に合わせて「部落差別」に変更しました。 ※基本構想の修正を伴うため、全体会で改めて確認をいただきます。
32	1-2 人権・部落問題・男女共同参画 施策分野名	「資料2 第6次総合計画 基本計画作成シート等の内容に係る質問・意見及び対応」No25 「めざすまちの姿」について、「同和」→「部落問題」としたが、「問題」というのはどうか？「部落」に問題があるわけではなく、差別する側に「問題」があるのだから、… 問題は差別する側に有るので、「部落差別」と表現するべきでは無いと思う。ついては、「部落問題」と表現すれば良いと考える。 「男女共同参画」という言葉は古いような気がする。… 男女共同参画する事を表現しており、考え方として性的マイノリティと考えると自分がおかしい。考えること自体が偏見を持っているからだ。	一部反映	No.31のように、ご意見、法律、方針等に合わせて文言の整理をしました。 「男女共同参画」は、平成11年(1999年)の男女共同参画社会基本法の制定以降、幅広く使われてきました。様々な取組がなされてきましたが、まだその実現には取組の継続が必要で、施策分野名は男女共同参画の言葉を残したいと考えています。 市男女共同参画プランでは、基本方針の一つに「女性への暴力の根絶とあらゆる人の人権の尊重」を定め、「性的マイノリティの人権の尊重」を施策の方向として、取り組んでいます。まだ十分理解、認識が深められてはならず、基本理念である「性の多様性が尊重されるまち」を引き続き目指しています。
33	1-2 人権・部落問題・男女共同参画 現状と課題	前回にも議論になっているかと思いますが、「部落問題(差別)」がテーマとして挙げられているのに、全く「部落」という文言が出てこないのは不自然。同和→部落にした意味合いも薄れてしまうと思うのですが、テーマにある以上「部落」の文言は必要。	原案どおり	現状と課題の中では、個別の人権問題について記述をしていないため、「部落差別」について記述できていませんが、No.31の整理のとおり、施策の方向性に表したいと考えています。
34	1-2 人権・部落問題・男女共同参画 現状と課題	現状と課題(2) 文中の「戦争を体験した世代の高齢化が進む中、…」削除。何故なら韓国の従軍慰安婦の問題と同じく若者に遺恨を認識させたいのですか。韓国では小学校の教科書に「日本には植民地化」されていた事を教えていますよ。	原案どおり	現状と課題にあるように、「市民一人ひとりが平和への関心を持ち、平和の大切さを伝え、ともに平和を守る意識を高めていく」ためにも、実際に戦争を体験した世代の話を聞く機会等も必要があるとし、このような表現にしています。
35	1-2 人権・部落問題・男女共同参画 現状と課題	現状と課題(3) 宝塚市はこの様なことを掲げて先進だと勘違いしている向きも有り、余りにも強調は如何かと考えます。ついては、身体障害者の本当の声としては「自分は好き好んで障害者」に成ったのでは無いと申される事を認識して進めて下さい。	その他	今後の取組の参考意見とさせていただきます。
36	1-2 人権・部落問題・男女共同参画 現状と課題	現状と課題(3) 最後の「より被害者の視点に立った相談が求められています。」は、「より被害者の視点に立った相談支援が求められています。」としてはどうか。(障害者福祉で使用している)	反映	現状と課題(3) 【修正前】 「…より被害者の視点に立った相談が求められています。」 ↓ 【修正後】 「…より被害者の視点に立った相談支援が求められています。」
37	1-3 開かれた市政	広報については読みやすく、わかりやすいと思っておりますが、ホームページ等は発信が遅い、部によって力の差があると思っております。	その他	ホームページによる情報発信は重要であると考えており、情報発信力の強化に取り組んでまいります。

No	該当箇所	審議会 質問・意見	質問・意見に対する対応、考え方 又は 修正内容	
			区分	内容
38	1-3 開かれた市政 現状と課題	現状と課題(1)、(2) 「また、近年、普及・発展しているICTを活用した」という言葉が両方に出てくる。(2)については「また、近年、普及・発展している」は必要ないのでは。 「近年」という言葉も違和感あり。必要なし。	反映	意見を踏まえて、下記のとおり修正します。 【修正前】 また、近年、普及・発展しているICTを活用した ↓ 【修正後】 また、ICTを活用した
39	1-3 開かれた市政 現状と課題	現状と課題(1) この件は自治会活動の阻害と成っていることも多少なりとも認識する必要がある。市のホームページを見れば大筋は解るので、自治会等に入って面倒くさい事はしたくないと言う考えの若者が増えてきている。いずれの団体等にも所属せずにも、学識等の有る方は好き勝手な事を言う、「言論の自由」をはき違えた方がいます。(この弊害は宝塚市としての「住民は会員」ですとしたことである。)	その他	現在制定を目指している(仮称)宝塚市協働のまちづくり推進条例においても協働の主体を組織体だけではなく市民個人も想定しており、協働の原則として対等の原則、相互理解の原則、役割分担の原則など、8つの原則を規定し、各主体がそれぞれの特性を生かしてまちづくりに参画することで、個性豊かな活力に満ちた地域社会が構築できるものと考えています。
40	1-3 開かれた市政 現状と課題	現状と課題(3)、「〇」2つ目 宝塚市にどのような事業者が有り、具体的に幾らかの事業者が存在しているか列挙して頂きたい。 宝塚市は現在までの10年間に企業誘致等の活動はしたのか。また、3分の2位の面積を有する「西谷地区」の活性化対策がないがしろと成っており、言葉上では北摂地区里山と言うのみで有り、農政の分野に入れるのでは無くして挿入部分を再検討するべきである。また、再検討する部分では来て頂く企業に対しては「優遇税制」を前面に出して誘致する事。	その他	統計データによると市内には、法人、個人を合わせて5,000以上の事業所が存在しています。これまで空き店舗活用、創業や起業に関する支援制度などで事業所支援に努めています。
41	1-3 開かれた市政 施策	施策(1)、「〇」1、2、3つ目 ○発信する情報の充実にも努めます ○必要な情報を的確に伝えます ○積極的な情報公開を推進します とあるが、「ホームページ」や「広報たからづか」に頼る感じが強く、アクセス待ちの感がぬぐえない。SNSなどを使い積極的な情報提供を入れるべき。	反映	意見を踏まえて、下記のとおり修正します。 【修正前】 ○必要な情報を的確に伝えます ↓ 【修正後】 ○各種広報媒体を活用し、すべての市民に必要な情報を的確に伝えます
42	1-3 開かれた市政 成果指標	施策(1)、成果指標 「オープンデータページのアクセス件数」とありますが、アクセスしただけではデータを活用されているかどうか証明できないため、「オープンデータのダウンロード数」などが適当なのではないでしょうか。 他の「ホームページのアクセス件数増」についても同じで、せめて「該当のページのアクセス件数」としないと、全体のアクセス数だけでは指標にならないと思います。	原案どおり	オープンデータについては、ファイル形式のオープンデータと、ページそのものがオープンデータであるものもあることから、原案どおりアクセス件数とします。 また、ホームページについては、市民の得たい情報はそれぞれの事情等により異なることから、原案どおり全体のアクセス件数とします。
43	1-4 情報化 施策	施策(1)「資料2 第6次総合計画 基本計画作成シート等の内容に係る質問・意見及び対応」No35 「(1)のねらいや主な取組①に、「マイナンバーカードの交付を推進し」とあるが現状の課題として、……」 国が管理社会化(国家)を目指すには必要と有るが、韓国・中国の様な社会情勢で無いので、早急な対応は必要無いと考える。(憲法改正が必要である。…強制力の拡大)については、現在の政治状況ではチグハグと成る。…宝塚市のマイナンバーの交付比率は何パーセントですか。 市が考えている段階では何とも成らないので、国としての方針が必要である。	その他	今後の取組の参考意見とさせていただきます。 なお、政府におきましては、今回のコロナ禍を受け、デジタルガバメントの基盤となるマイナンバー制度の抜本的な改善を図り、利活用を推進することとしています。 宝塚市の直近のマイナンバーカード交付率は、以下のとおりです。 ・令和2年(2020年)7月12日現在 18.60%(交付申請率は24.94%)
44	1-4 情報化 施策	施策(1)「資料2 第6次総合計画 基本計画作成シート等の内容に係る質問・意見及び対応」No36 説明内容は素案には関係が無いようですが、どこのことを言っているのかわかりません。	その他	以前配布した「資料2 第6次総合計画 基本計画作成シート等の内容に係る質問・意見及び対応」のNo36は、基本計画作成シートの「エイジフレンドリー」の項目にかかる記述です。ご指摘のとおり、現行の基本計画(素案)には関係ありませんが、「エイジフレンドリー」の項目の扱いについては、改めて審議会の場でご意見を伺いたいと考えています。
45	1-4 情報化 現状と課題	現状と課題(1)(2) ともに庁内の情報化についての記載でしょうか？ (2)の前半の主語が庁内なのか、一般的な企業のことなのか分かりませんでした。	反映	ご意見を踏まえて、下記のとおり修正します。 【修正前】 「AI、RPAなど…」 ↓ 【修正後】 「庁内業務処理にAI、RPAなど…」
46	1-4 情報化 現状と課題	現状と課題(2) 現状と課題の大事な部分に「課題解決に限界があります。」この字句を基本部分に入れて市職員は恥ずかしく無いのか、認めるのであれば、「給料の減給を実施します」と市民に公言しなさい。…限界です、と公表する事は正直で有るとも言える。 宝塚市だけではなく、行政機関が概ね同じ傾向にあり「縦割り行政」が一番の弊害で有る事を認識して下さい。(知識が有り有能な職員で有る誇りを持って。)民間企業では限界ですと言うのであれば、配置転換及び降格等も実施しなくては企業として成り立たない事を勘違いしない(肝に銘じて)下さい。世の中は甘くない。	反映	現状では課題解決に必要なICT環境が整備できていないことを意図して記載いたしましたが、ご指摘のとおり「できない」と読めるため、下記のとおり修正します。 【修正前】 「庁内各部署が保有する業務データを政策立案のために活用する環境が整っておらず、長期的な予測や部署間の課題解決に限界があります。」 ↓ 【修正後】 「庁内各部署が保有する業務データを政策立案のために活用するシステム環境が整っておらず、長期的な予測や部署間の課題解決にICTを活用できていません。」
47	1-4 情報化 施策	教育、福祉、産業分野におけるICT・AI化の支援は、この度のコロナ禍を受け、今後、一層推進していく必要がある。	一部反映	ご意見のとおり、コロナ禍により、リモートワーク、リモート教育など、ICTをこれまで以上に活用した社会の構築が必要であると考えます。 ご意見を踏まえて、施策(1)、「〇」2つ目を下記のとおり修正します。 【修正前】 「高度なICTを活用し、質の高い…」 ↓ 【修正後】 「高度なICTを活用し、教育、福祉などあらゆる分野で質の高い…」
48	1-4 情報化 施策	施策(1)、「〇」2つ目 質の高いまち→質の高い行政サービス とした方が分かりやすいのではないかと思います。	反映	ご意見を踏まえて、下記のとおり修正します。 【修正前】 「質の高いまち」 ↓ 【修正後】 「質の高い行政サービス」
49	1-4 情報化 施策 成果指標	施策(1) ○世帯のインターネット環境の整備をすすめます。 ◆インターネット環境の普及率 追加することができないか？	原案どおり	総務省情報通信白書によると、平成30年(2018年)のインターネットの利用率は79.8%となっており、ここ10年間の推移が概ね80%前後でほとんど変化がありません。 その内訳を見ると、年齢階層別では13歳から59歳までは90%を超えている一方で、70歳代から大きく利用が下がりがり51%、80歳以上で21.5%となっています。 また、世帯年収別で見ると、400万円以上で8割を超えている一方で、200万円から400万円未満で70.6%、200万円未満では54.4%と、所得により大きな差があります。 以上のように、インターネットの利用率は全体として既に高く、かつ高齢者に優しいデバイスの進歩や低所得者層への対策は、自治体単独による施策としては難しいことから、原案どおりとします。

No	該当箇所	審議会 質問・意見	質問・意見に対する対応、考え方 又は 修正内容	
			区分	内容
50	1-4 情報化 施策	現状と課題(2) 多くの重要な問題が指摘されている。特に「庁内各部署が保有する業務データを政策立案のために活用する環境が整っておらず、長期的な予測や部署間の課題解決に限界があります」との指摘にもかかわらず「施策」(2)「デジタルシフトによる効率的な行政運営の推進」の具体策の一つとして「業務情報のデータ化とEBPMの活用を進めます」とあるが前述のように業務データの活用が困難な現状において、実現不可能なEBPM活用を進めると記載することに疑問を感じます。まずは、指摘を受けている部署間のコミュニケーションを改善し、イノベーションが起きる環境を醸成するための方策をまず考えるべきです。	一部反映	ご意見のとおり、今日の行政課題は複数の部署が関わる案件が多く、組織間でのコミュニケーションを円滑にすることが重要であると考えます。 このため、フリーアドレスや職員のSNSなどの利用を想定しています。(「〇」1つ目、「職員が最大のパフォーマンスを発揮できるICT環境を整備します」で取り組む予定です) ご意見を踏まえて、施策(2)、「〇」3つ目を下記のとおり修正します。 【修正前】 「業務情報のデータ化とEBPMの活用を進めます」 ↓ 【修正後】 「業務情報のデータ化とEBPMの活用環境の整備を進めます」
51	1-4 情報化 成果指標	施策(2)、成果指標 「ICTの活用による削減時間」の削減時間は何を意味するのですか？ICTの活用により、定型業務に費やす時間やデータの収集・分析の時間などは削減できますが、削減できた時間をより創造的な業務に振り向けることになるため、全体の業務時間は削減できません。削減時間を明確に定義したほうが良いと思います。	反映	ご意見を踏まえて、下記のとおり修正します。 【修正前】 「ICTの活用による削減時間」 ↓ 【修正後】 「ICTの活用による定型・繰り返し業務や非効率業務の削減時間」
52	1-5 行財政運営	現状と課題 人件費の削減は必須。全国的に見ても宝塚市の給与水準は高い。そこに素直にメスを入れる潔い現状分析をしてほしい。(厳しい意見ですが…)	その他	人件費の適正化などの取組は必要であると考えており、令和元年度(2019年度)、令和2年度(2020年度)の2か年度にわたって国に準拠した給与制度の適正化に取り組んでいます。基本計画では、限られる経営資源をいかに適切に配分していくかという大きな課題でまとめています。そのため、基本計画ではなく、総合計画の下位計画として策定予定の行財政経営に関する指針や行動計画を検討するうえでの参考意見とさせていただきます。
53	1-5 行財政運営	現状と課題 現状と課題(1) 国民として言えば余りにも申請書類等の雑多な事が1番の要因である。申請資料の捺印数を確認した事が有りますか。(ISOの顧客満足度等の再確認と勘違いした書類の煩雑化。言い過ぎだけではない報告書の多さを1番に再検討すべき。)	その他	行政手続きにおける書面や対面主義、押印原則などの見直しは、行政サービスの効率的、効果的な提供のみならず、新型コロナウイルス感染症拡大防止の点からも喫緊の課題であり、基本計画の施策として掲げている「(1)時代にふさわしい市民サービスの追求」の具体的な取組として、行政事務の抜本的な見直しが必要であると考えています。具体的な取組については、基本計画ではなく、総合計画の下位計画として策定予定の行財政経営に関する指針や行動計画を検討するうえでの参考意見とさせていただきます。
54	1-5 行財政運営	現状と課題 現状と課題(3) 宝塚市は幸か不幸か現在計画中の第6次総合計画の期間には、他市と多少異なり住民の減少は少ない事をチャンスと捕らえて事業の効率化等を推進して頂きたい。	その他	今後の取組の参考意見とさせていただきます。総合計画の期間の10年間においては、人口減少のみならず、生産年齢人口の減少や高齢化率の増加などによって生じる課題は多くあると考えています。これらの課題について、可能な限り分析することにより明確にしたうえで、施策の成果を強く意識して、効率的・効果的に行財政経営を推進していくことが重要であると考えています。
55	1-5 行財政運営	施策 施策(2)、「〇」2つ目 「スマートシティ」の言葉が先走りし、各自治体での具体的なテーマ・取組姿勢のないまま「スマートシティ」に取組とは余りにも抽象的過ぎるのではないのでしょうか。取組むに当たっては、従来の縦割りに組織の弊害を廃し、関係組織の連携を望みます。	その他	今後の取組の参考意見とさせていただきます。スマート自治体への転換に向けた取組だけでなく、組織体制の整備、職員意識や組織風土の改善への取組を併せて行うことにより、縦割り組織の弊害を廃し、組織間の連携が取れるよう努めます。
56	1-5 行財政運営	施策 施策(3)、「〇」2つ目 行財政運営を推進します。…誰がされるのですか。(現在の状況に成ったのは誰が陣頭指揮して来たのか、多に反省すべきで有る。 ①国の助成金等を他市より多く「比率」獲得する事。②民間出身の経営感覚を持った方々に指導して頂く事。③大学の先生は法律関係等を指導して頂く事を主体とする。)	その他	市民から信頼される行財政運営の推進は、まずは、市が主体となり、国や県との連携はもとより、民間や大学などとの連携が必要であると考えています。 今後の取組の参考意見とさせていただきます。
57	1-5 行財政運営	施策 施策(3)、「〇」2つ目 「市民から信頼される」とは何をもってそう評価するのかわかりません。 市民が信頼するのは、市民から見ても効率的・効果的な行財政運営がなされていると評価された時と推察します。 そこで、「〇市民から信頼される効率的・効果的な行財政運営を推進します」としたら如何でしょうか？	反映	市民から信頼される行政を展開するため、施策の目的やその目的のために効果の上がる手段、期待される効果を明らかにした上で、限られた経営資源を有効に活用し、実施する施策の効果をより高めるため、EBPMを活用することなどにより、効率的・効果的に施策を実施していくこととしています。つきましては、以下のとおり修正します。 【修正前】 市民から信頼される行財政運営を推進します ↓ 【修正後】 施策の有効性や効果などについて可視化し、市民から信頼される効率的、効果的な行財政経営を推進します
58	2-1 危機管理・防災・消防 3-1 健康・医療	新感染症について、対策、市立病院の項目でふれるべきではないか？	一部反映	意見を踏まえて、下記のとおり修正します。 「2-1 危機管理・防災・消防」 現状と課題(2) 【修正前】 大規模災害時における… ↓ 大規模災害や感染症の蔓延時における… 施策(2)、見出し、施策(2)、「〇」1つ目 【修正前】 (2)自助・共助を核とした防災体制づくりの推進 ○地域防災力の向上を図ります ↓ (2)自助・共助の体制づくり ○地域における防災力の向上と感染症への備えを推進します 「3-1 健康・医療」 現状と課題(1) 【修正前】 …などに取り組む必要があります。 ↓ 【修正後】 …などに取り組む必要があります。また、感染症については、県の要請に基づき、関係機関と連携協力し対応する必要があります。
59	2-1 危機管理・防災・消防	現状と課題 現在の最大課題であるコロナに関連して、感染症に対する危機マニュアルや広域連携についても危機管理に入れることは必要かと。	原案どおり	ご指摘いただきました新型コロナウイルス感染症対策については、法律に基づき、計画やマニュアルを予め作成しており、それらに基づき対応を実施しています。また、広域的な取組も重要であることから、県、関西広域連合と通じて連携しつつ、広域的な感染症対策を進めているところです。
60	2-1 危機管理・防災・消防	現状と課題 現状と課題(2) この項目に関しては賛同できますが、もっと紧迫感を持って支援する必要がある。地区防災計画は全地区でいつ頃までに完成されるのですか。災害はいつ発生するか躊躇している暇は有りません。(人命が一番大切です。東日本大震災を教訓に下さい。)	その他	災害の発生までの時間的余裕がないことについては、ご指摘のとおりであると承知しています。地区防災計画の策定について、各まちづくり協議会の皆様の作成への機運が高まるよう支援策を講じながら取り組んでいきます。

No	該当箇所	審議会 質問・意見	質問・意見に対する対応、考え方 又は 修正内容	
			区分	内容
61	2-1 危機管理・防災・消防	現状と課題 現状と課題(3) この項目も賛同します。一番大事な事は災害を止められませんから、減災を主眼として安否確認を全市挙げて統一する事を要請します。	その他	全市挙げての統一した安否確認は、自助、共助、公助の考え方のもと、市民の皆様のご協力がある、なしえるものと考えています。災害への備えとして、自助、共助のしくみがしっかり機能するよう、平素からのお互いさまがあふれるまちづくりを、市民の皆様と行政で共通理解をもって築き上げていきたいと考えます。
62	2-1 危機管理・防災・消防	施策 施策(1)、「〇」2つ目 大雨による六甲・長尾山系からの小河川が武庫川へ流入する水害対策で、県・自治体による連携した危機管理の必要性を痛感します。バックウォーターによる浸水対策防止を切に願います。	その他	浸水防止対策のハード対策とともに、ソフト対策として市民の日頃からの備えと早めの避難について今後とも啓発に努めます。自治会やまちづくり協議会、民生児童委員の皆様に対しても災害に備えた共助の取組への支援に引き続き取り組みます。
63	2-1 危機管理・防災・消防	施策 施策(2)、「〇」2つ目 現在では、「民生・児童委員」の方たちの協力的なバックアップ体制の基で推進されていますが、もっと市としての組織作りに真摯に推進して下さい。	その他	ご指摘のとおり、災害時要援護者の支援活動は、民生委員・児童委員の方々のお声がけにより支えられています。災害援助活動は、自助、共助、公助の考え方のもと、支える人が多いほど、支える人と支えられる人との信頼関係が深いほど、災害時に自助、共助にその強みがいかにされます。ご近所同士の平常時からの支え合いの心を培っていただきますよう、「お互いさま」のまちづくりを啓発してまいります。
64	2-1 危機管理・防災・消防	施策 施策(3)「資料2 第6次総合計画 基本計画作成シート等の内容に係る質問・意見及び対応」No64 確認として消防団はどこに有りますか。	反映	消防団は「地域の消防・防災力の充実を図ります」に含まれますが見えづらいので、「消防団を中核とした地域消防体制の充実を図ります」に変更し反映します。
65	2-1 危機管理・防災・消防	成果指標 「安心メール」だけでなく「民間企業との協定」や「福祉避難所登録数」を追加しては？	原案どおり	指標については、防災施策を推進する各事務事業の評価の指標において検討させていただきます。
66	2-1 危機管理・防災・消防	成果指標 施策(2)、成果指標 ◆一次避難所の整備数を加えることができないか？	原案どおり	確かに身近に避難所が数多くあることは、安全・安心の確保につながりますが、新たに避難所として運営できる公共施設等はないのが現状です。そこで宝塚市では地域の身近な避難所として、身近な自治会館や集会所を届避難所として登録いただき、地元の皆様により運営いただいています。
67	2-1 危機管理・防災・消防	成果指標 施策(3)、成果指標 「救命講習受講者数」の「めざす方向性」が「一」と横ばいになっていますが、これの意図するところは？ 単純に考えると、「ノ」ではないかと考えますが、いかがでしょうか？	原案どおり	救命講習受講者数は、上限目標値の年間1万人を達成しています。令和元年度(2020年度)はコロナウイルス対策として講習を一時的に中止したため、1万人には満たなかったものの、一昨年は1万1千人以上を達成しており、現場負担として限界値のため、受講者数を下げることなく現状維持を、持続可能な目標値としています。
68	2-1 危機管理・防災・消防	成果指標 「救命講習受講者数」が目指す方向性において⇒なのはなぜでしょうか？ 増加していることが望ましいと思うのですが、維持とした理由があるのでしょうか	原案どおり	
69	2-1 危機管理・防災・消防	成果指標 施策(3)、成果指標 「防災講座・教室開催数」も含めては？	原案どおり	指標については、防災施策を推進する各事務事業の評価の指標において検討させていただきます。
70	2-2 防犯・交通安全	現状と課題 現状と課題(2) 「発生件数は減少してきましたが、自転車の運転のマナーの悪さなどから、近年は」は、「発生件数は減少してきましたが、近年、下げ止まりの傾向にあり、自転車運転マナーの啓発が必要となっています。」としてはどうか。	反映	意見を踏まえて、下記のとおり修正します。 【修正前】 交通事故(人身、自転車)の発生件数は減少してきましたが、自転車の運転マナーの悪さなどから、近年は下げ止まり傾向にあります。 ↓ 【修正後】 交通事故(人身、自転車)の発生件数は減少してきましたが、近年、下げ止まり傾向にあり、自転車の運転マナーの啓発が必要となっています。
71	2-2 防犯・交通安全	現状と課題 現状と課題(2) この項目に関しては、多に賛同します。特に高校生へのヘルメットの着用を条例で決めて頂きたい。(自転車でも保険制度あり)。	その他	本市では、市民の自転車の安全利用の意識向上と自転車事故防止を目的として、平成25年(2013年)10月に県下初となる「宝塚市自転車の安全利用に関する条例」を施行するとともに、自転車利用者の交通事故の被害を軽減するため、平成30年(2018年)10月に条例を改正し、高校生を含む全ての自転車利用者を対象に自転車用ヘルメット着用の努力義務を追加しました。
72	2-3 消費生活	施策 施策(1) 「全年齢切れ目のない」を、「全世代」または「あらゆる世代に切れ目のない(健康・医療で使用している)としてはどうか。	一部反映	ご指摘の点を踏まえ、また、市消費者教育推進計画と整合を図り、以下(別添)のとおり文言修正させていただきます。 【修正前】 「全年齢切れ目ない消費者教育や啓発の推進」 ↓ 【修正後】 「世代や生活の場に応じた多様な消費者教育の推進」
73	2-3 消費生活	成果指標 施策(1)、成果指標 「消費生活・消費者被害相談件数」も追記しては？	原案どおり	ご指摘の点については、行政評価などの指標として活用し、今般の総合計画においては、施策の方向性と合わせた成果指標と致します。
74	2-4 土地利用・市街地・北部整備	現状と課題 「都市機能*を集積するなどコンパクトなまちづくりが進んでいる」はテーマにも入っているが、現在(コロナ)の状況では集積はかえってマイナス、ICTが進む今後「地域分散化」の行政組織もあるのではなか。5G・6Gの時代どこでも「行政」や「都市機能」は実現できる。コロナの今だから発想として必要なのではないか。北部にも行政の部門を移動できます。	原案どおり	南部地域においては駅を中心としたコンパクトな都市構造が確立されており、これを継承して行くこととします。人口減少や少子高齢化が進展する中でも暮らしやすく、地域特性に応じた都市構造の実現を目指したいと考えています。
75	2-4 土地利用・市街地・北部整備	現状と課題 現状と課題(2) この項目に関しては、賛同します。2019年度では新生児が1名とはなはだ厳しい状況であります。ついては、人口の流入を含めて第2名神のPRと企業誘致の促進を図って頂きたい。	その他	北部地域においては少子高齢化が著しい現状に対応するため、「地域ごとのまちづくり計画」において、移住の受け入れや空き家の活用を市民と行政が協働で推進することとしています。
76	2-4 土地利用・市街地・北部整備	現状と課題 現状と課題(3) 「…いまだ整備の充分でない地域」整備が不十分な地域とは今津線「小林駅前」を指していると思われるが、他の駅前整備が進んでいるにも拘わらず、乗降客多い当駅前の整備が停滞しているのは譜に落ちない。早急な整備推進が求められます。	原案どおり	ご意見については市も認識しており、阪急小林駅周辺整備に向け、地元と協議検討を行っているところです。

No	該当箇所	審議会 質問・意見	質問・意見に対する対応、考え方 又は 修正内容			
			区分	内容		
77	2-4 土地利用・市街地・北部整備	施策	審議会 質問・意見	「資料2 第6次総合計画 基本計画作成シート等の内容に係る質問・意見及び対応」No79 ①に「コンパクトなまちづくりの形成」とあるが日常生活を支える交通ネットワークを充実させるとともに、歩いて暮らせるまちづくりを目指すことを前提としています。この内容を基本方針として進めているのか。特にコミュニティひばり地区の地形を認識して居ないから、おそまつな方針を進め様としている事を再確認する為に、早急に地域住民と現地を歩いて確認する事。(地域住民に周知徹底させて置く。) 別件だが、長尾台小学校区は特殊性が有り①川西市の満願寺町自治会が有る。②通学時間が1時間強かかる地区が有る。③市からの要請(強制)かバスでの通学を指示されている。(しかし、バス通学用の費用は市の負担も無く保護者負担で有る。検討を)	その他	現実的に歩くということだけではなく、日々の暮らしに必要な施設が身近な場所にコンパクトに整っていることで自家用車に過度に依存することがないまちづくりが含まれています。子どもから高齢者までの地域の幅広い世代が協力しながら力を合わせ、持続性のある暮らしが続けられるまちづくりに取り組む必要があると考えています。
78	2-4 土地利用・市街地・北部整備	施策	審議会 質問・意見	「○」2つ目 緑地の利活用 とは、なんですか？何のことが判るように書く必要があると思います。 施策(2) 南部地域と、北部地域の微妙な記述の違いではなく、具体的に書く必要があると思います。また、住環境や活力の維持には、市民との協働や連携が欠かせないと思います。	反映	市域全体、南部地域、北部地域の内容が混在し読みにくかったため、記載内容の大幅な見直しを行いました。
79	2-4 土地利用・市街地・北部整備	施策	審議会 質問・意見	「○」3つ目 如何なる方策を考えて居るのか、説明を要する。	その他	市域全体、南部地域、北部地域の内容が混在し読みにくかったため、記載内容の大幅な見直しを行いました。
80	2-4 土地利用・市街地・北部整備	施策	審議会 質問・意見	「○」2つ目 この項目に関しては賛同します。(如何なる方策ですか説明を要請します。)	その他	市域全体、南部地域、北部地域の内容が混在し読みにくかったため、記載内容の大幅な見直しを行いました。
81	2-4 土地利用・市街地・北部整備 2-5 住宅・住環境	施策	審議会 質問・意見	南部では主に山手で土地開発が行われています。一方、高齢者は駅近くのマンションに住まいを移す傾向にあります。山手の住宅街は空家・空地が目立つようになってきました。行政は、新たな宅地開発を抑制し、空家・空地を埋めるような誘導をお願いする施策に切り換えて下さい。	原案どおり	空き家の活用を促進するため、令和元年(2020年)10月に「宝塚市空き家バンク」制度を創設しました。市場に流通していない空き家の情報を市が所有者から募集し、広く発信することで、利活用希望者とのマッチングを図る取組を始めたところです。
82	2-4 土地利用・市街地・北部整備	成果指標	審議会 質問・意見	「地区計画等の決定地区数」および「地区まちづくりルールの認定地区数」の「めざす方向性」が「→」になっていますが、「↗」の方が良いと思いますが、如何でしょうか？ というのは、地域の住環境を良好に維持するためには、地域の思いを込めた地区計画や地区まちづくりルールがあったほうが開発事業者と話し合うことが確約できると思います。	原案どおり	既定地区の計画見直しも必要であること、また、人口減少や高齢化によって、まちづくり活動団体の担い手不足が顕在化していることなどにより、現状を維持することも厳しい状況です。
83	2-5 住宅・住環境	現状と課題	審議会 質問・意見	現状と課題(1) 現在の状況として市内の空き家等がどれだけ存在しているのか把握して、表現しているのはなはだ疑問が有る。(条例を早期に作成し空き家対策を促進して下さい。)	原案どおり	空き家の存在把握については、平成25年(2013年)当初に自治会による実態調査を行い、報告された空き家について建築士による劣化度調査を実施しました。その結果を踏まえて、新たに施行された「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づく「宝塚市空家等対策計画」を平成29年(2017年)4月に策定し、空家等に関する対策を総合的かつ計画的に取組んでいます。
84	2-5 住宅・住環境	施策	審議会 質問・意見	「○」(1)、(2) 2項目ともに大切な施策です、1日でも早く促進して下さい。	その他	引き続き推進していきます。
85	2-5 住宅・住環境	施策 成果指標	審議会 質問・意見	「○」(1) 施策の方向性として、「○管理不十分なまま放置されている空き家をなくす」という意味の文言を入れることはできないでしょうか？ 上記意見に関して「管理不十分な空き家をなくす」という施策の方向性が「○既存住宅の適正な維持保全を推進し、良好な住環境を維持します」に含まれるならば、成果指標名と目指す方向性に「管理不十分な空き家の数」「↘」を追加して下さい。	原案どおり	貴見については、「空家の適正管理と活用の促進を図ります」に含まれています。 空家対策は安全性の低下、公衆衛生の悪化、景観の阻害等の恐れのある「管理不十分な空き家」を削減することが目標であり、その取組として地域住民からの相談や苦情に基づき、空家所有者に対して適切な管理を促すだけでなく、管理不十分な空家を生み出さないための予防啓発や空き家の利活用を促進することが必要であると考えています。 令和元年(2020年)10月に「宝塚市空き家バンク」制度を創設し、利活用を促進する施策を重点的に進めていく必要があることから、施策の成果指標については「空き家バンク物件登録件数」を設定しています。
86	2-5 住宅・住環境	施策	審議会 質問・意見	「○」(1) 阪急宝塚駅～南口界隈の住宅整備を眺めると宅地の大規模宅地から小口分譲に進展し、小規模住宅化へ推移している。宅地の高度規制を緩和し、宅地の増数制限し、土地の高度利用を推進する以外に環境改善は見込めないのではないのでしょうか。	その他	地区の特性を踏まえながら、暮らしの豊かさや便利さを考慮した良質な住宅の供給を誘導していきたいと考えています。また市街地の低未利用地(空き家)の活用も課題と捉えています。
87	2-5 住宅・住環境	成果指標	審議会 質問・意見	市営住宅供給戸数を成果指標とする施策が明記されていません。空家に関する指標としては、空家に関する相談や苦情の件数などが当てはまるのではないのでしょうか？	一部反映	市営住宅供給戸数を成果指標としたことが分かりやすい様、施策(1)、「○」1つ目を下記のとおり修正します。 【修正前】 ○既存住宅の適正な維持保全を推進し、良好な住環境を維持します ↓ 修正後 ○民間住宅や市営住宅の有効活用との適正な維持保全を推進し、良好な住環境を維持します 空家対策は安全性の低下、公衆衛生の悪化、景観の阻害等の恐れのある「管理不十分な空き家」を削減することが目標であり、その取組として地域住民からの相談や苦情に基づき、空家所有者に対して適切な管理を促すだけでなく、管理不十分な空家を生み出さないための予防啓発や空き家の利活用を促進することが必要であると考えています。 令和元年(2020年)10月に「宝塚市空き家バンク」制度を創設し、利活用を促進する施策を重点的に進めていく必要があることから、施策の成果指標については「空き家バンク物件登録件数」を設定しています。
88	2-6 道路・交通 2-7 河川・水辺空間 3-2 地域福祉 3-3 高齢者福祉 3-4 障害(がい)者福祉	現状と課題	審議会 質問・意見	宝塚市には理系技術者としての専門知識を持つ職員が少ない。そこで外部のコンサルを入れがちなが無理がある。理系(土木)職員を河川や道路の現場を体験(5年とか)してもらい、土木専門員という称号を与えて欲しい。これを優位の称号として使用してもらいたい。福祉も同様である。通常の業務に就いても不利にならないよう配慮する規則をお願いしたい。	その他	土木職員は現状においても土木専門職としての位置づけであり、多くの職員が河川や道路の現場経験を積み、その専門性についても、外部機関が実施する専門研修への参加等を通じて資質向上を図っています。福祉についても社会福祉士等の資格を持った職員を福祉専門職として配置しており、またこれらの職員がいかなる業務に就いても待遇面で不利になることはありません。
89	2-6 道路・交通	現状と課題	審議会 質問・意見	現状と課題(1)、(2) 文章中にある、「地域の活性化」とはどのような状態を指すのでしょうか？ 目指す活性化の方向性があれば、ご教授いただければと思います。	その他	「地域の活性化」は、移動の円滑化に伴う利便性の向上や経済活動の活性化を想定しています。

No	該当箇所	審議会 質問・意見	質問・意見に対する対応、考え方 又は 修正内容	
			区分	内容
90	2-6 道路・交通	現状と課題 現状と課題(2) 新たな移動手段の確保が求められています 一般的な平地ではそれなりの交通手段は考えられますが、宝塚市の居住地の3分の1は急峻な丘陵地に点在しており、高齢者の移動手段を早急に検討して下さい。(検討の基本的考え方は自分の祖父母が如何なる手段で、移動できるかを考えればと思います。)	その他	今後の参考とさせていただきます。
91	2-6 道路・交通	現状と課題 現状と課題(2) 「少子高齢化の進行に伴う利用者の減少」がよく分からない。利用者減少の原因は自家用車の増加、人口減少、などではないのか。 「少子高齢化の進行に伴う」は削除した方がよいのではないのか。	一部反映	バス利用者は、通勤通学を目的とした利用者の占める割合が多く、少子高齢化による就業者、通学者の減少を想定しています。ご指摘のとおり、人口減少も利用者減少の要因と考えられるため、「人口減少や少子高齢化の進行に伴う」に修正します。
92	2-6 道路・交通	施策 施策(2)、「○」3つ目 都市計画道路の整備には、長期間を要する為、宝塚の中心を通る176号線の通行量が増えたとまちまちな渋滞を招く。両宝塚(JR・阪急)の駅前空間又は、武庫川河川敷を利用した3000台以上の駐車場を設けて宝塚市内の渋滞解消は出来ないものでしょうか。	その他	以前配布した「資料2 基本計画策定シート」の内容に係る質問・意見及び対応」でお答えしたとおりですが、宝塚駅前交通結節点として交通が集中するとともに、国道176号により通過交通が駅前を通過し渋滞の要因となることが本市の課題ですので、駅前から通過交通を除くよう道路網を整備する方針です。
93	2-6 道路・交通	施策 施策(4) 自転車ネットワーク計画に基づく整備を推進します。(この項目に対しての質問として、如何なる計画を駆使して推進するか説明して頂きたい。この考え方は、宝塚市の地形および道路環境は知らない、方々が他市と同様な考え方の基で描いた絵に描いた計画では無いでしょうか。)	その他	本市の地形等を勘案し、阪急今津線、阪急宝塚線より内側の比較的平坦な地形の地域を対象にネットワーク計画を策定しています。
94	2-7 河川・水辺空間	現状と課題 現状と課題(2) 本項目には大賛成ですが如何なる方策をお考えか、説明して頂きたい。(高齢化により活動内容が縮小傾向にある事を認識しているのので有れば、中高年の方々にも協力願うのも良いのでは無いのか。…新しい考え方として「有料ボランティア制」を導入すれば、厚生年金受給者の様な事は無いと考える。)	その他	施策の(2)5.おおいや安らぎのある河川・水辺空間の創出で、○河川・水辺空間活動団体を支援します」と記載しています。今後、活動団体の活性化を促進する有効な支援等を検討していきます。
95	2-7 河川・水辺空間	施策 現状では全く指摘されていませんが、宝塚市にとって武庫川は大事な水辺空間です。その河川景観の創出は必須と思います。景観のところで具体的には書かれていませんが、景観計画の「観光プロムナード」と重なる武庫川沿いの景観づくりについて施策を具体的に記述しても良いと思います。	原案どおり	施策の(2)5.おおいや安らぎのある河川・水辺空間の創出で、○河川・水辺空間の利活用を推進します」と記載しています。今後、武庫川沿いの景観づくりについて、おおいや安らぎのある河川・水辺空間を創出するため、河川・水辺空間の利活用を推進するなかで具体的な施策を検討していきます。
96	2-8 上下水道	現状と課題 現状と課題(2) 「下水道施設の老朽化が進むなか」とあるが、下水道として「合併処理浄化槽」も組み込むべきではないか。国の施策(補助等)は理解したが、やはり下水処理をしているのは事実。南部の住人に全く認識されないことにも問題がある。	その他	合併処理浄化槽については、国の「合併処理浄化槽設置整備事業における国庫補助方針」に基づき、10人以下の規模の浄化槽の新設について補助していますが、この指針では浄化槽の老朽化に伴う更新に関する規定がなく、現時点では更新に対する支援制度はありません。
97	2-8 上下水道	施策 施策(1)、「○」2つ目 安定供給を図るため一水道水の安定供給を図るため とした方が分かりやすいのではと思います。	反映	「水道水の」を追加します。
98	2-8 上下水道	施策 「資料2 第6次総合計画 基本計画作成シート」等の内容に係る質問・意見及び対応」No94 「災害時は給水拠点として配水池等を活用するとともに、…どれくらい前から出来て居るのですか。」「資料2 第6次総合計画 基本計画作成シート」等の内容に係る質問・意見及び対応」No95の広域統合化へ進む可能性はあるのかについて…今後は阪神水道企業(確認要)からの供給と成るかどうか…他市との供給は有る。	その他	平成8年(1996年)1月以降、災害時の給水拠点として配水池等の活用を進めています。平成29年(2017年)4月より、阪神水道企業からの受水を開始しています。
99	2-8 上下水道	施策 施策(1)、「○」4つ目 この項目を考えた時点では、国の新しい方策として発表されている、水道事業の「民営化」の方針を考慮せずに進める考えなのか説明して下さい。また、現在進められています「阪神水道企業」からの供給を知った状況で進めるとなれば市民を欺く事に成ら無い疑問である。 国民全員が勘違いしている事は「水・空気・電気」は有って当たり前とする考え方が存在している事を基本として推進して頂きたい。(各事業がどれだけ苦勞して維持管理して頂いている事を認識して頂く必要が有る)	その他	ご意見にある民営化とは、水道法の改正により給水責任を自治体に残したうえで、民間事業者へ水道事業の運営を委ねる、コンセッション方式による官民連携施策の件だと思っておりますが、本市のコンセッション方式への考えとしては、全国的にも水道事業での取組事例がなく、実際のメリット・デメリットも明確になっていないことから、現時点で同方式の導入などは考えていません。
100	3-1 健康・医療	現状と課題 現状と課題(2) コロナウイルス感染症拡大により我が国で初めて「緊急事態宣言」発令されているのに、コロナウイルス感染症を含めた感染症対策が触れられていないのは不自然なので追記をすべきである。	反映	意見を踏まえて、下記のとおり修正します。 「3-1 健康・医療」 現状と課題(1) 【修正前】 …などに取り組む必要があります。 ↓ 【修正後】 …などに取り組む必要があります。また、感染症については、県の要請に基づき、関係機関と連携協力し対応する必要があります。
101	3-1 健康・医療	現状と課題 ホームドクター制度の項目を加えたらいいのではないのか。	原案どおり	ホームドクター(かかりつけ医)制度については、健診などの保健事業を通じて啓発しており、現状と課題の(1)に含むものと考えているため、原案どおりとします。
102	3-1 健康・医療	現状と課題 現状と課題(3) 「超高齢化社会」は、「超高齢社会」とすべきではないのか。	反映	意見を踏まえて、下記のとおり修正します。 【修正前】 超高齢化社会 ↓ 修正後 超高齢社会
103	3-1 健康・医療	現状と課題 現状と課題(3) 新生物の意味がわかりにくいと思うので注釈に加える方が良いと思います。	反映	意見を踏まえて、下記のとおり修正します。 【修正前】 新生物 ↓ 【修正後】 がん
104	3-1 健康・医療	現状と課題 現状と課題(3) 文中にある「新生物」は腫瘍を指し、医学用語として一般的な表現かもしれませんが、市民には分かりにくい言葉かと思いました。新生物(腫瘍)などの表現か、注釈がある方が良くないかと思いました。	反映	意見を踏まえて、下記のとおり修正します。 【修正前】 新生物 ↓ 【修正後】 がん

No	該当箇所	審議会 質問・意見	質問・意見に対する対応、考え方 又は 修正内容	
			区分	内容
105	3-1 健康・医療 現状と課題	現状と課題(3) 本項目に関してはあり方を検討する。その通りで有るが考え方の中に「市立病院の場所」を考えられた事は有りますか。(交通手段としては本数の少ない「バス」または「タクシー」でない通院できない事を知っているのか。参考までに川西市は山間部に数十年前に移転したが、利用者の減少等により漸く阪急・川西能勢口近くの「キセラ地区」に移転を決めて推進中である。)	その他	今後の取組の参考意見とさせていただきます。
106	3-1 健康・医療 施策	○感染症対策の向上を目指します追加できないか？	一部反映	新型コロナウイルス感染症については、現状と課題に記載します。 現状と課題(1) 【修正前】 …などに取り組む必要があります。 ↓ 【修正後】 …などに取り組む必要があります。また、感染症については、県の要請に基づき、関係機関と連携協力し対応する必要があります。
107	3-1 健康・医療 施策	施策(1) 高齢化の進展により健康寿命の更なる延長が求められているにもかかわらず、3大疾病(糖尿病・ガン・認知症)を予防する為の健康診断の受診率が低いのは、予防の認識が甘いと思われる。是非受診率向上を！	その他	今後の取組の参考意見とさせていただきます。
108	3-1 健康・医療 施策	施策(3)「資料2 第6次総合計画 基本計画作成シート等の内容に係る質問・意見及び対応」No98 「(3)のねらいや主な取組①の「医療機関と福祉部門や介護施設等との連携」はどのように」 公共施設・民間施設との的確な連携を望みます。	その他	今後の取組の参考意見とさせていただきます。
109	3-1 健康・医療 成果指標	施策(3)、成果指標 市立病院の入院単価の入院単価という意味がわかりにくいと思うので注釈を入れた方がよいと思います。	反映	意見を踏まえて、下記のとおり修正します。 【修正前】 注釈に記載なし ↓ 【修正後】(注釈に追記) 入院単価:入院収入を延べ入院患者で除したもので、入院収支を改善するためには、救急の応需率を上げ、連携を強化して高度な検査や手術適応患者の紹介数を増やしなが、退院促進を進めることで、適切な在院日数を維持することが重要である。
110	3-2 地域福祉 現状と課題	現状と課題(1) 「少子高齢化の進展や」は、「少子高齢化の進行や」としてはどうか。	反映	厚生労働省、総務省でも、「少子高齢化の進行」という表現も確認できたことから、そのように修正します。
111	3-2 地域福祉 現状と課題	現状と課題(1) 文字の挿入が必要では 支えあうこと(が)できる共生のまち…	反映	脱字を確認しました。修正します。
112	3-2 地域福祉 現状と課題	施策(1)「資料2 第6次総合計画 基本計画作成シート等の内容に係る質問・意見及び対応」No100 ボランティア活動と言いますが…活動費用はどこから出ていますか。	その他	「ボランティア活動」は「無償の慈善活動」と考えます。慈善活動に必要な経費は、自主財源として、寄付者からの善意の寄付金を集めたり、企業や社会福祉団体からの活動支援金などに申し込まれたり、活動内容によって行政の予算の範囲で補助金を受けるなど、活動内容により自主財源の確保は様々です。なお、宝塚ボランティアセンターに登録し、申請のあったグループにはボランティア活動助成が行なわれており、その財源は、市の補助金、宝塚市社会福祉協議会の会費や共同募金配分金となっています。
113	3-2 地域福祉 施策	施策(2) 総合相談支援体制を構築・強化します。(まず、現状の説明と今後の考え方を説明して頂きたい。市の行政と民間機関との協力体制が問題と成ろう。…ボランティアにさせるな。)	その他	家族の絆や、ご近所同士のつながりなど、地域包摂力が弱まりつつある現在においては、住民が抱える課題は潜在化することがあります。相談相手もなく、適切な支援が届かないまま孤立化し、課題は長期化、複合化し、取り返しがつかない問題となります。50歳の無業者が、80歳の親を介護するといった、いわゆる「8050問題」がその典型例です。社会制度の切れ目や、隙間が放置されることなく、相談支援につながる仕組みと仕掛けが「総合相談支援体制」と考えています。
114	3-2 地域福祉 成果指標	施策(2)、成果指標 「セーフティネット会議」ではなく、「ブロック域における専門職連携会議開催数or設置数」にしては？高齢、障害・児童の横断的な会議体として…	反映	ご指摘の点を踏まえ、「セーフティネット会議」ではなく、「ブロック域における専門職連携会議開催数or設置数」とのご提案の趣旨を踏まえ反映する方向です。ただし、併せてその指標の集計のあり方も検討する必要があり、表記として、地域生活支援会議もしくは地域ケア会議の設置数、開催数などの表記方法を検討します。
115	3-3 高齢者福祉 現状と課題 施策	現状と課題、施策(1) 両方ともに賛同します。介護の時期を遅らせる為の方策としては100歳体操の導入等の施策は有りますが、今後はいかなる方策をお考えか教えて頂きたい。(民間企業との共同が必要と考えます。)	その他	介護の時期を遅らせることは、健康長寿社会に向けた取組であり、若年期からのQOLの向上や、健康づくり、そして生きがいづくりが大切と考えています。そのためにも、家族、親近者同士の平素からの思いやり、支え合いをはじめとして、地域においては健康、福祉に対する理解や社会包摂力の啓発、生きがいづくりでは、企業、事業者との協力などを得ることで、高齢となっても社会で活躍できるよう、市民、民間事業者、行政がともに知恵を出し合い、健康長寿社会の構築に向けてバランス感を持って取り組む考えです。
116	3-3 高齢者福祉 施策	施策(1)、「○」2、3つ目 健康寿命の更なる延長と孤独死の防止の為には、地域の近隣住民の協力がなくと不可能な事であり、「地域福祉」、「児童福祉・青少年育成」と連携し、幅広い活動で推進する必要性を感じます。	その他	ご指摘の点を施策展開に生かしてまいります。 高齢者の福祉の維持向上を図るためには、「地域福祉」、「児童福祉・青少年育成」、「障害者福祉」とも連携し、それぞれの施策間で連携した幅広い取り組みが必要です。それぞれの分野別計画の成り立ちも異なっても、担当する部署が市民生活課題の共通認識のもと相互に補完し、市民の皆様と行政の協働の視点も大切に、総じて幅広く福祉施策の維持向上を推進します。
117	3-3 高齢者福祉 成果指標	施策(1)、成果指標 「65歳以上…」ではなく、「支えあい活動グループ数」、「地域ささえあい会議実施数」を追加しては？	反映	ご指摘を踏まえ反映します。「地域で支えあう仕組みづくりの推進します」に紐づけされる成果指標として、集計方法も再考したうえで、「支えあい活動グループ数」が「地域ささえあい会議実施数」のいずれかを追加します。あわせて表記方法についても再考します。
118	3-4 障害(がい)者福祉 現状と課題	確認ですが、障害の「がい」は「碍」の文字に統一されると言われていますが、「障害児通所支援」や「障害福祉サービス」の「がい」はそのままですか？	その他	本市では平成31年(2019年)4月1日から「障害」を「障害(がい)」と改めています。例外として法律等の用語や国・県などの施設名称などの固有名詞は変更をしない扱いとしています。そのため「障害児通所支援」や「障害福祉サービス」は法律の用語であるためそのままとしています。
119	3-4 障害(がい)者福祉 現状と課題	前回にも提案したが「障害」と「障壁」が気になる。宝塚市では「障壁」という言葉がそこまで一般化しているとは思えない。せめて「障壁」の言葉の説明と意義を注意書きしてほしい。	反映	ご指摘の通り市民への啓発が大切です。次のとおり注釈を追加します。「障壁(がい)」の「碍(がい)」には「さまたげ」や「バリア」の意味があるが、このバリアは個人の心身機能が原因で生じるものでなく、道路や施設、制度、慣習や差別的な観念など社会的障壁との相互作用で創り出されているもので、この社会的障壁を取り除き、誰もが人格と個性を尊重し支えあう暮らしやすい社会の実現を図るため、平成31(2019)年4月1日から法令や制度、個別名称などを除く公文書において「障壁(がい)」と表記している。
120	3-4 障害(がい)者福祉 成果指標	施策(1)、成果指標 「計画相談」に加えて、地区ごとの相談事業所の相談件数(社会参加に関する)を入れてはどうか？	一部反映	地区ごとではなく全体で社会参加や余暇活動の相談件数を入れることは可能ですので項目を追加します。

No	該当箇所	審議会 質問・意見	質問・意見に対する対応、考え方 又は 修正内容	
			区分	内容
121	3-5 社会保障 成果指標	施策(1)、成果指標 記載されている2項目に加えて、「せいかつ応援センターの自立相談支援プラン数」を入れては？	反映	せいかつ応援センターの自立相談支援プラン数の項目を追加します。
122	4-1 児童福祉・青少年育成 現状と課題	「子どもたちが、豊かな自然や文化芸術に触れ」がテーマに挙げられているが、この項目の内容が見当たらない。	その他	ご指摘の点については、次世代育成支援行動計画の基本理念においても、本市の特色である豊かな自然や文化芸術に触れることにより、子どもが夢と希望を抱き、健やかに成長するとともに、子どもを育むことが楽しくなるまちの実現を目指すことを示していますので、この理念も踏まえ事業に取り組んでいきます。
123	4-1 児童福祉・青少年育成 施策	施策(3)、「○」1つ目 「子育てを支援する生活環境づくり」は、「子育てしやすい生活環境づくり」としてはどうか。	反映	ご意見を踏まえ、「子育てしやすい生活環境づくり」に修正します。
124	4-1 児童福祉・青少年育成 施策	施策(4)、「○」1つ目 共働き世帯の増加により近隣住民の協力が求められているが、中々推進されていない。高齢者支援と併せ地域に根付く、支援・子育てのサポート体制を築く必要性を痛切に感じます。	その他	ご意見について今後の参考とさせていただきます。例えばファミリー・サポート・センター事業においても地域における育児の提供者と依頼者間の援助活動などは有効であることから、更なる利用促進を目指します。
125	4-1 児童福祉・青少年育成 施策	施策(4)、「○」2つ目 「子どもの居場所づくりをさらに進めます。」または「子どもの居場所のさらなる充実を図ります」としてはどうか。	反映	ご意見を踏まえ、「子どもの居場所のさらなる充実を図ります」に修正します。
126	4-1 児童福祉・青少年育成 成果指標	施策(2)、成果指標 記載されているものに加えて、「学童保育の待機児童数の減少、改善数」を入れては？	原案どおり	ご意見については、「子どもの面倒を見てくれる保育所、放課後児童クラブに入所することができない」と回答した市民の割合を成果指標としており、同指標で読み替えられるため、原案どおりとします。待機児童数の減少、改善を目指して取組を進めていきます。
127	4-1 児童福祉・青少年育成 成果指標	施策(4)、成果指標 ◆中・高生が集える空間面積の向上 を加えることができないか？	原案どおり	ご意見については、子どもの居場所づくりの施策の中で地域児童館での利用や新たな場所の提供などの検討課題もあることから、今後の取組の参考とさせていただきます。
128	4-1 児童福祉・青少年育成 成果指標	施策(4)、成果指標 記載されているものに加えて、「子ども食堂実施件数」を入れては？	原案どおり	ご意見については、地域活動を通じて行う配慮が必要な子どもへの支援にもつながることから、今後の取組の参考とさせていただきます。
129	4-2 学校教育 施策	施策(1)「自尊感情*、自己有用感*」をはぐくむためには、子どもの社会参加が必要。「子どもの社会参加」の項目を施策として追加してほしい。	原案どおり	子どもの自尊感情、自己有用感を育むためには、周囲との関わりの中で自らの存在を価値あるものと認識することが必要であることから、そのために子どもの社会参加は重要であると考えています。個別計画における各種取組の中で、子どもの社会参加を推進するよう位置付けていきます。
130	4-2 学校教育 施策	小・中・高校のデジタル機器の整備と先生などへの指導・訓練等の取組を表すため、施策のどこかに「○非常時のオンライン教育システムの構築」を追加してはどうか。	原案どおり	現下のコロナ禍においては、ICTを活用した教育の必要性を認識しており、施策(2)「学校園、教職員の教育力の向上」中、「時代に応じた教育環境の整備」において位置付けています。
131	4-2 学校教育 成果指標	施策(3)、成果指標 記載されているものに加えて、「コミュニティスクール設置数」、「PTCAの取り組み件数」を入れては？	原案どおり	コミュニティスクールの設置は令和4年(2022年)の導入完了を目指しています。また、PTAとの関係においては、日常的に多様な取組を行っていただいていることから、指標として計測することは困難ですが、地域との連携は不可欠であり、PTAの方々も含めた市民の取組意識を指標とすることで、成果を確認していきます。
132	4-3 社会教育 施策	施策(1) 人生100年の生涯を通じ、社会変革の波に洗われ新知識の必要性が求められている時代が来ています。新しい知識取得の場を紹介する手立てを取敢えず整える必要性があります。	その他	人生100年時代においては、生涯学習への取組も、これまで以上に多様化、個別化が進むと考えられますが、学びに取り組む方々のニーズに応える取組は重要なことと捉えています。ご意見については今後の取組の参考とさせていただきます。
133	4-3 社会教育 成果指標	施策(1)、成果指標 「学びがまちづくりに生かされていると思う人の数」を加えては如何ですか。 めざす方向性は「△」です。	原案どおり	生涯学習において、学ぶ目的は人によってそれぞれ違うものであり、「学びをまちづくりに生かします」は行政の施策の方向性やねらいであって、これを目的にされている人の数を成果指標にすることは考えていないことから、原案のとおりとします。
134	5-1 都市景観 現状と課題	「北部地域の田園・農村景観、山並みを背景とした自然景観」がテーマに入っているのに、全く項目がない。「まち山」「里地里山」の保全と維持の項目を追加してほしい。	原案どおり	「まち山」「里地里山」の景観についても、宝塚市景観計画における都市景観の取り組みに包含されていると考えています。 なお、緑化・公園の施策(3)で、緑地や里山・まち山の保全・再生の推進を記載しています。
135	5-1 都市景観 現状と課題	現状と課題(1) ▶「景観計画」を「宝塚市景観計画」に。	反映	意見を踏まえて、下記のとおり修正します。 【修正前】 「景観計画で定めた指針や方針…」 ↓ 【修正後】 「宝塚市景観計画で定めた指針や方針…」
136	5-1 都市景観 現状と課題	現状と課題(1) 「(前略)景観計画で定めた(後略)」は「(前略)宝塚市景観計画で定めた(後略)」ではないでしょうか。	反映	意見を踏まえて、下記のとおり修正します。 【修正前】 「(前略)景観計画で定めた(後略)」 ↓ 【修正後】 「(前略)宝塚市景観計画で定めた(後略)」
137	5-1 都市景観 施策	施策(1) 宝塚駅から大劇場・手塚治虫記念館・宝塚文化センターにつながる「花のみち」は、宝塚の目抜き通りであり、現状では負相に感じます。目標は高くフランスのシャンゼリゼ通りを目指そうではありませんか。大劇場を観望した人が電車の中迄豪華な気分を味わってほしい。	その他	以前配布した「資料2 基本計画策定シート」の内容に係る質問・意見及び対応」でお答えしたとおり、花のみちについては、中央部の散策空間をリニューアルしていますので、ご理解いただきますようお願いいたします。
138	5-1 都市景観 成果指標	景観審議会デザイン協議部会への傍聴の申込数は、市民の関心の高さを知る指標にならないでしょうか？いつも抽選ですか？ あらたな、景観計画特定地区や景観形成地域の指定やその中での取り組みで指標となるものはないでしょうか？	原案どおり	景観審議会デザイン協議部会への傍聴の申込数は、景観への関心というよりも、居住地への影響を関心ごととされる方が大多数です。また、景観計画特定地区や景観形成地域内での取組については、民間開発状況によって大きく影響するため成果指標に設定することは難しいと考えています。
139	5-2 緑化・公園 現状と課題	現状と課題(2) 「緑化に取り組まれている地域緑化モデル地区指定団体数は」は、「緑化に取り組む地域緑化モデル地区指定団体数は」としてはどうか。	反映	意見を踏まえて、下記のとおり修正します。 【修正前】 公共施設やまちかどなどで緑化(花)に取り組まれている地域緑化モデル地区指定団体数は… ↓ 【修正後】 公共施設やまちかどなどで緑化(花)に取り組む地域緑化モデル地区指定団体数は…

No	該当箇所	審議会 質問・意見	質問・意見に対する対応、考え方 又は 修正内容		
			区分	内容	
140	5-3 環境保全		「COOL CHOICE」という用語をどこかで使用する方がいいのでは？	原案どおり	個々の省エネ啓発活動において、国民運動であるCOOL CHOICEを掲げ、省エネ意識を啓発し、省エネを進めます。
141	5-3 環境保全	現状と課題	「生物多様性*が保全され、人の営みと自然がつながっている。」がテーマとしてあるが、「人の営みと自然がつながっている」ことに対する現状認識を課題として上げてほしい。	原案どおり	世界では生物の種の絶滅が増加しているといわれる中で、本市の現状把握をするために、現在、基礎調査を行っているところです。
142	5-4 循環型社会	施策	地域内でヒト・モノ・カネ・情報が循環するシステムの構築等の取組を表すため、施策のどこかに「〇地域内の自律分散型社会システムの構築」を追加してはどうか。	原案どおり	この章でいう循環型社会は、人が生活するにあたり色々なものの消費し廃棄しますが、あらゆる物が限りある資源であり、従来のように使ったら捨てるのではなく、まずごみを作らない、使えるものは修理したり誰かに譲ったりして更に使い、その次に捨てる時はごみにせず資源化する。最後にごみとして燃やす時もエネルギー回収することで、あらゆる資源を何度も循環させて使う社会の構築を目指すものととらえていますので、ご指摘の追加はこの章にはなじまないと考えますので原案のとおりとします。
143	5-4 循環型社会	現状と課題	現状と課題(2) 「福祉収集」という言葉についても、注釈が必要かと思いました。	反映	ご意見を踏まえて注釈を追加します。 福祉収集とは、ご自身でごみステーションまでごみを出すことが困難な一人暮らしの高齢者又は障害者を対象に自宅までごみを収集に行くサービス。
144	5-5 都市美化・環境衛生	現状と課題	現状と課題(2) 「飼い主に対して更なるマナー向上が必要」は、「飼い主の更なるマナー向上」または「飼い主に対してのさらなるマナー啓発が必要」ではないか。	反映	「飼い主のより一層のマナー向上」に修正します。
145	5-5 都市美化・環境衛生	施策	施策(1)、「〇」1つ目 「きれいなまちづくり」という言葉が一般的になっているのか不明で、違和感がある。「まちを美しくするという市民の意識を高める」または「きれいなまちの維持を市民とともに進める」という意なのか。	反映	「市民のきれいなまちづくりに対する高い意識の維持」を「まちを美しくするという市民意識の維持・向上」に修正します。
146	6-1 観光		宝塚新ホテルの誕生で新しい観光スポットを開発するという方向性は？	その他	現状と課題(2)の中で、「魅力ある各地域資源が独立して点在し、」と示していますが、宝塚駅周辺は多くの資源が集中する地域です。宝塚ホテルや文化芸術センターがオープンしたことにより、さらに魅力が増したスポットとして、今後もPRIに努めていきます。
147	6-1 観光	現状と課題	現状と課題(2) 「積極的な誘客に向けた…課題があります。」の文章が非常に分かりづらい。「積極的な誘客には、国内外へ宝塚の多彩な魅力を発信する必要があります、その情報発信力に課題があります。」としてはどうか。	一部反映	【修正前】 「積極的な誘客に向けた国内外へ宝塚の魅力を組み合わせ情報発信に努める必要がありますが、様々な地域資源の魅力を外部に伝える情報発信力に課題があります。」 ↓ 【修正後】 「積極的な誘客には、国内外へ宝塚が持つ様々な地域資源の魅力を組み合わせ発信する必要がありますが、その情報発信力に課題があります。」
148	6-1 観光	施策	広域DMOなどによる都市間の魅力づくりやアピール等の取組を表すため、施策のどこかに「〇周辺都市との広域観光連携の促進強化」を追加してはどうか。	一部反映	意見を踏まえ以下のとおり修正します。 【修正前】 地域間(市内観光資源)の周遊性の向上を図ります ↓ 【修正後】 地域間の周遊性の向上を図ります
149	6-1 観光	施策	施策(3) 〇新たな観光資源の発掘・創造を図ります。追加できないか？	原案どおり	施策(1)「地域間(市内観光資源)の周遊性の向上」に含むものと考えています。観光振興戦略を策定していますが、戦略で掲げる「ウェルネスツーリズムの促進」は、これからの新しい観光資源になるものと考えています。
150	6-1 観光	施策	施策(3) 製造業の起業が見込めない当市にとって観光事業による地域発展は是非実現すべき要件であります。官民挙げて取組むべきですが是非阪急資本の協力を仰げないものでしょうか。	その他	阪急電鉄は、観光振興をはじめとする市政の運営において、大切なパートナーです。再開発事業など都市基盤の整備のハード部分、まちの魅力を活かしたまち歩きなどのソフト部分と、多大なご協力をいただいています。今後も引き続き、この良好な関係を維持し、協力関係を深めながら施策を推進していきます。
151	6-2 商工業	施策	地域経済循環率が低水準とあるが、市内で発生する業務発注を金額を重視するあまり、市外の業者が多く受注する傾向にあるのは解せない。循環率が低くなるのは当然である。市内事業者に得点を与える施策を探り受注数を増やし、市税の納入額を増加させて欲しいと、市民は願っています。	その他	市内事業者の活性化やそのことによる市税収入増を目指していきたいことは同様の考えです。今後も様々な施策を通して、地域経済循環の促進を図っていきます。
152	6-2 商工業	施策	既存事業所をはじめ、市内外からの立地支援が必要である。	その他	既存施策として空き店舗活用、創業や起業に関する支援制度も設けています。今後も効果的な支援ができるよう各施策を推進していきます。
153	6-2 商工業	施策	施策(3)、「〇」1、2つ目 シビックプライドの醸成とは 商工施策と文化施策の連携とは 上記2点の意味あいとは如何なものか？	その他	市民や市内在勤、在学などの方が「宝塚」を構成する一員として市内でよい商品を購入していくことでの相乗効果や地域経済の循環向上がより良い場所としての都市としての魅力や価値を高めていくものと考えています。また、宝塚市産業振興ビジョンで掲げる予定である将来目標「創造都市・宝塚の実現」のためには、文化施策とも連携した創造性に富んだ新たなモノ・サービスなどが創出されることを目指しているものです。なお、文化芸術による経済効果も「地域活性化(産業振興)」の一翼を担っていくことを目指していることは前回もお答えしているとおります。
154	6-3 農業	施策	施策(2)、「〇」2、4つ目 環境保全で指摘された再生可能エネルギーの目標値に届かない点を当該要件に組み込み、派生電力でロボット・ICT・AI等の新技術と組合せ新技術導入による農業の合理化は図れないでしょうか。	一部反映	エネルギーや農産物の自給率向上については、持続可能なまちづくりを進めていくうえで重要なテーマのひとつであると考えています。そのうえで、新しい技術なども取り入れた農業分野での生産性の向上や効率化も推進できればと考えています。具体的には、分野別計画(宝塚市農業振興計画)策定の過程で検討させていただきます。また、ご意見を踏まえ、一部修正致します。
155	6-3 農業	成果指標	施策(2)、成果指標 他に考えうる成果指数はないのでしょうか？ 農に関する移住・定住等の促進などは他の成果指数があると思いました。	原案どおり	ご指摘の点については、分野別計画(宝塚市農業振興計画)策定の過程で同計画での指標とすることなどを検討させていただきます。
156	6-4 雇用・労働環境	施策	施策(2)「就労機会の掘り起こし」とあるが、掘り起こし以外の取組も必要である。	その他	今後も市内で働く方、働きたい方、働き続けたい方、労働力を求める事業所がマッチングできるよう各施策を推進していきます。
157	6-4 雇用・労働環境	施策	施策(1) 高齢者の定年、女性のM字カーブ対応等の雇用を高めなければならない要素は高まっています。観光・商工・農業・芸術分野との連携により雇用拡大を図るべき時が到来しています。	その他	ご指摘の点については、同様の考えです。各分野別計画や宝塚市産業振興ビジョンにおいて各施策間連携などが図れるよう掲げ、それぞれの関係者と行政などが連携して推進していきたいと考えています。
158	6-4 雇用・労働環境	施策	施策(1)、「〇」2つ目 「就労を希望する方への」は、他の表現と同じく「就労を希望する人への」としてはどうか。	反映	ご意見のとおり、「方」→「人」へ修正します。

No	該当箇所	審議会 質問・意見	質問・意見に対する対応、考え方 又は 修正内容	
			区分	内容
159	6-5 文化・国際交流	現状と課題 現状と課題(1) 「市民ホールがない」と書かれているが、職員はまだ箱物にこだわっているのか。市民ホールはいらない。宝塚大劇場を所有者と交渉して、一日市民に借りて欲しい。公演や練習で埋まっているのは承知しているが、それでもやり繰りが出来ない事ではない。解放された年間12回を市民の企画配分して、市民からの盛り上がるこそが文化感覚を向上させる近道だと考えます。	その他	1997年に、市民会館を閉館して以降、1000人規模のホールがないのが現状です。市では、大規模なホールを所有することは、財政的に難しいものと考えています。また、宝塚大劇場では、一般的な貸館は行われてはおりませんので、県立芸術文化センターなど近隣の施設の利用を促しています。
160	6-5 文化・国際交流	現状と課題 現状と課題(1) 4行目以降 句読点や配置が不自然で読みにくいので以下のようにしてはどうか。 「一方で、市民や文化活動団体から、市民ホールがないことを筆頭に近隣都市と比べて文化関係施設が不足しているとの指摘もある。」	反映	意見を踏まえ以下のとおり修正します。 【修正前】 他方、市民ホールがないことも含めて、市民や文化活動団体等からの近隣他市と比べ、文化関係施設の不足を唱える声も存在しています。 ↓ 【修正後】 一方で、市民や文化活動団体等から、市民ホールがないことも含めて、近隣他市と比べて文化関係施設が不足しているとの指摘もあります。
161	6-5 文化・国際交流	現状と課題 現状と課題(2) 「(2)(前略)文化団体等(歌劇や温泉、神社仏閣(鉄斎美術館や史料館を含む)、植木等民間施設等)で(後略)」の文章は読みにくいので、括弧の使い方を工夫し、「(2)(前略)文化団体等[歌劇や温泉、神社仏閣(鉄斎美術館や史料館を含む)、植木等民間施設等]で(後略)」にしたほうが良いと思います。	一部反映	【修正前】 「市や市文化財団、市国際交流協会、文化団体等(歌劇や温泉、神社仏閣(鉄斎美術館や史料館を含む)、植木等民間施設等)で多彩な文化芸術事業が展開されています。」 ↓ 【修正後】 「市や市文化財団、市国際交流協会、文化団体等をはじめ、歌劇や温泉、博物館や史料館を有する神社仏閣、植木に関する施設などでは、多彩な文化芸術事業が展開されています。」
162	6-5 文化・国際交流	現状と課題 現状と課題(2) 1行目～3行目()の中にさらに()があり読みにくいので以下のようにしてはどうか「市や市文化財団、市国際交流協会、文化団体等(歌劇や温泉、博物館を有する神社仏閣、植木に関する民間施設等)で多彩な文化芸術事業が展開されています。」		
163	6-5 文化・国際交流	現状と課題 現状と課題(3) 3行目「供されていますが、文化芸術に…」⇒「供されていますが、さらに文化芸術に…」 「さらに」を挿入してはどうか	一部反映	【修正前】 「様々な文化芸術に触れる機会が提供されていますが、文化芸術に親しみが薄い人にも通じる事業も求められます。」 ↓ 【修正後】 様々な文化芸術に触れる機会が提供されていますが、一方で、文化芸術に親しみが薄い人にも通じる事業も求められます。
164	6-5 文化・国際交流	現状と課題 現状と課題(3) 4行目「じる事業も求められます。…」⇒「じる事業が求められます。…」にしてはどうか	反映	【修正前】 「様々な文化芸術に触れる機会が提供されていますが、文化芸術に親しみが薄い人にも通じる事業も求められます。」 ↓ 【修正後】 様々な文化芸術に触れる機会が提供されていますが、一方で、文化芸術に親しみが薄い人にも通じる事業も求められます。
165	6-5 文化・国際交流	施策 文化芸術施設をアピールするためにテレワークなどを活用した双方向の情報発信等の取組を表すため、施策のどこかに「○文化芸術施設とオンラインイベントの運動」を追加してはどうか。	原案どおり	テレワークなどの取組は、施策(1)のうち「誰もが文化芸術に触れ、楽しめる環境づくり」に含むものと考えています。
166	6-5 文化・国際交流	施策 施策(3)、「○」2つ目 「文化芸術の持つ創造性を生かした地域活性化の取組を推進します。」とあるが、創造性のみでは絵空事で薄っぺらに感じます。創造性のみを追って失敗した取り組みは全国に多々あります。社会課題をあぶり出す媒体としてのアート、アートを介して皆で課題を解決していく、文化芸術にはそうした懐の深さがあって、それに突き動かされた市民が地域を再生していくというニュアンスが欲しいです。「文化芸術の持つ創造性を生かし、地域の社会課題解決や活性化の取組を推進します。」でどうでしょうか	反映	意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 【修正前】 ○文化芸術の持つ創造性を生かした地域活性化の取組を推進します ○関連分野(施策)との有機的連携を促進します ↓ 【修正後】 ○文化芸術の持つ創造性を活かし、他の分野との有機的連携を進めることにより、地域の社会課題解決や活性化の取組を推進します
167	6-5 文化・国際交流	施策 施策(3)、「○」2、3つ目 大劇場、神社仏閣、手塚治虫記念館、芸術文化センター、ペガホール等のハード施設は揃っており、観光・商工分野・恵まれた自然基盤の連携でソフト面の充実でより付加価値を高める事ではないでしょうか。	その他	観光やまちづくり、福祉、教育、産業などの各施策が、文化芸術との連携により、「まち」「人」関係するすべての面において、付加価値を生むように進めていきます。
168	6-1 観光 6-2 商工業 6-3 農業 6-4 雇用・勤労者福祉 6-5 文化・国際交流	観光、商工業、雇用・労働環境、文化・国際交流について 今回の新型コロナによる影響が多岐にわたっています。来年度以降も影響は改善されないと思いますが、その内容はもろこむ必要はないのでしょうか。	その他	コロナ禍の一刻も早い収束(終息)を願っていることなどは皆様と同様ですが各論において影響などの記載については、他の施策と同様に、これまでとこれからの動向も踏まえて、検討していくべき内容と考えています。なお、現時点でコロナ禍を踏まえ、一部修正をしている部分を含んでいます。